



世界に希望を生み出そう

東京新都心ロータリークラブ
【よく見て、よく聞いて、よく話そう】

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階

TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554

HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

会長 伊豆隆義 幹事 吉田寿人 創立 : 1988年9月21日

「日本企業の源流 創業期越後屋(三井)の経営理念」

東京大学名誉教授

公益財団法人三井文庫 常務理事・文庫長 武田 晴人 氏

2023年に日本を代表する企業グループの一つである三井家の事業は、日本橋に呉服店越後屋を創業してから350年の節目を迎えている。事業活動の長期にわたる継続性、そのたゆまない企業成長は、創業者である三井高利とその子どもたちが試行錯誤のなかで固めた経営の基本方針・理念に支えられてきた。

三井高利は、「店先売り」と「現金掛け値なし」などにより呉服商売にイノベーションを起こし、急激に事業を拡大した。また、高利は、三井家の結束を図るために、長男高平を本家とし、同族9家(後に11家)を組織し、三井の事業資産を一族が協力して末代まで発展させることなどの遺訓を長男高平に託した。そこでは、相続において財産を分割しないこと、年々の利益を事業に優先的に投資すること、良い奉公人を選んで仕事を任せることなど、事業活動を永続させることに留意した経営の知恵が凝縮されていた。この考え方が、時代の変化による三井家存続の危機を乗り越えさせ、明治時代には「三井家憲」に継承されて、近現代の三井の事業の根幹を支えることになった。

そして、この三井家の経営理念は、近世から近代に至るまで、日本の企業経営を特徴付けるものとなった。



略歴 武田晴人(たけだ はるひと) 1949年4月生まれ

1972年3月 東京大学経済学経済学科卒業

1979年3月 東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

1979年4月 東京大学社会科学研究所 助手

1981年4月 東京大学経済学部 助教授

1988年7月 経済学博士(東京大学)

1991年6月 東京大学経済学部 教授(97年より大学院経済学研究科教授)

2015年3月 東京大学を定年退職、同年6月 東京大学名誉教授

2020年6月 公益財団法人三井文庫、常務理事・文庫長に就任(現職)

2022年3月 日本学士院賞受賞

2023年8月30日(水) 第1561回例会

「日本企業の源流 創業期越後屋(三井)の経営理念」

東京大学名誉教授・公益財団法人三井文庫

常務理事・文庫長 武田 晴人 氏

(紹介者 田口 文彦 会員)

次回のプログラム

2023年9月6日(水) 第1562回例会

R情報・雑誌・広報委員会委員長 高橋 一博

ロータリーの友地区代表委員 半場 慎一